



家庭で使える支援グッズ

先月の会報で、「巻き物カレンダー」を紹介したところ、利用者の方から反響があり「使ってみたい」という声が多く聞かれました。ならば、他にもいろいろあるよ！ということで今月も家庭で使える支援グッズを紹介したいと思います。

◆どこでもパーテーション

障害特性により、キョロキョロしてしまう方にお勧めします。

視覚的な刺激に引っ張られやすく、それによってやるべきことが分からなくなっていたり、集中することが困難になったりしてしまう・・・そんな時、仕切となるパーテーションを用いれば、その刺激から自分を隔離し、自分の居場所を確保することができます。



生活工房HPより

どこでもパーテーションなら、置くだけで簡単に個別の空間を作ることができ、さらに、折りたためば持ち運びに便利な A4 サイズになるので、カバンの中に入れて、外出先、食事などの場面で簡単に使うことができます。

(さらに内側にメッセージを貼れる「マグネットタイプ」というものもあります。でも、結構高額なので、自作されるのも良いかもしれませんね。)

日本語おもしろい

坪内忠太著 新講社より

◇寄り道することを、なぜ「道草を食う」というか？



道草を食うの「食う」を何となく「時間を食う」と思っていないだろうか。が、この「食う」は本当に道に生えている草(道草)を「食う」のである。なぜか？食うのは人間でなく馬だからである。乗って出かけた馬が、道の途中で草を食べ始めて動かない。空腹だから時間はどんどん過ぎていく。結局、寄り道したのと同じ結果になる。だから、寄り道を「道草を食う」といった。

ポコアポコ

▼スペイン語で「いっぽ一歩ゆっくり進む」の意味…

先日、この題名の映画を観賞する機会がありました。車いすの女性が空き缶を集め、お年寄りに車いすを 100 台も贈ったという心温まる実話を映画化したものでした。

この小児マヒの女性は、学校にも通うことができず、母と二人で暮らしていました。ふとしたきっかけで、空き缶を拾い集め始めるも、周りからは変な目で見られ、ゴミの中から拾うことも並大抵のことではありませんでした。

一度決心したことをやり遂げるまでには、母親の励ましと協力があって続けられたのです。また近所の人々の励ましの言葉や、酒屋さんの協力、さらには一人の生徒との出会いから学校へとつながり、そしてマスコミにも取り上げられてと、支援の輪が広がっていきました。まさに、いっぽ一歩ゆっくりと地道に進んでいったのでした。

▼人の為になが、自分の為に…

彼女の言葉に、「最初は人の為にと考えてしていたことが、いつしか自分の為に生きがいを持つことができた…」

人は生きがいを持って生きることには真の喜びを感じるものであると思えました。この映画を通して、人と人との絆の深さが、生きがいの持てる社会を作り出すことを教えてくれました。

久々に、泣いて笑って涙した映画でした。

心づれづれ



ホームヘルパー一年生

私は今年度からまごころで働き始めました。まだ 20 代半ばの私に、ヘルパーができるのかと最初は不安でした。

始めはとにかくケアの内容を覚えることで精一杯でしたが、手際良く出来た時、会話を楽しめた時、何より帰り際に利用者や家族の方が「どうもありがとう！」と言ってくれた時、胸の奥がぽわっと温かくなるように嬉しくなり、ヘルパーって良い仕事だなあと素直に感じました。

現在私は介護保険、障害福祉、有償、移送と、幅広いケアに関わっています。その中で、お料理やお掃除などの家事の工夫、人生の先輩からいろんな教訓や礼儀など、利用者さんやそのご家族からも多くの事を学ばせていただき、一人前のヘルパーになれるよう育てていただいていると感じています。人と関わる中で、自分も成長していけることがこの仕事の良い所だと思います。

ただ順調なばかりではなく、うまく出来ない事や失敗もありました。そんな時にも先輩ヘルパーが、できるようになるまで何回も一緒に練習をしてくれたり、励ましてくれました。だからこそ頑張れたのだと思っています。

私はこれからもっと勉強し、よいケアが出来るようになりたいです。最後に、私のような若いヘルパーがまごころにもっと来てほしいと願っています。

協力会員 小塚奈津子

ミニデイだよ



初ミニデイ

1 月 10 日、今年初めてのミニデイサービスの日。「一週間お休みが入ったから、今日のミニデイを楽しみにしていたのよ！」と年頭から、嬉しいお言葉です。

早速、午後には車に乗り合って真清田神社に初詣に出かけました。

参拝される方もまだまだ多く新春の雰囲気賑わっていました。まごころの利用者さんもそれぞれいろいろな思いをこめてお参りされました。

とても暖かい日でしたので、池の方まで境内をお散歩することに。「こんなとこまで来たのは久しぶりやわ。」

「去年、ここで写真撮ったわよね。皆で撮りましょう。」「毎年同じ場所で撮ると去年の私と比べられるわね。」「どんどん若くなっていったりして！」と、今日も笑いの絶えない一日でした。

今年もまた、皆さん息災で暮らせませうように。



～車いす譲ります～

車いすが 3 台ほど倉庫で眠っています。どなたか、使って頂ける方は連絡をお待ちしております。1 台は電動です。

電話 0586-73-8707

(一宮まごころ 事務局)

